

# 「県外及び内陸地区へ移動している被災者へのアンケート調査」結果

## 1 目的

- (1) 東日本大震災津波により被災し、沿岸地区を離れ県外・内陸地区に移動している被災者に対して、移動理由、今後の居住場所、情報ニーズ等を把握し、県・市町村が実施している被災者支援の充実を図る。
- (2) 今後の住まいの意向について、昨年度実施したアンケートと比較することで、県外・内陸に移動する被災者の動向を把握する。

## 2 調査の概要

- (1) 調査対象 県外へ移動している300世帯及び内陸地区へ移動している300世帯を抽出
- (2) 調査方法 郵送法（郵送による発送、返信用封筒による返送）
- (3) 調査期間 平成25年7月～平成25年8月
- (4) 調査項目 属性・基礎情報（世帯人数、住民票異動の有無、生計維持者の状況 等）  
移動の理由／今後の居住場所等／情報提供ニーズ／相談会や交流会のニーズ／自由意見

### (5) 回収結果

- ア 県外移動者 96件  
(回収率 32.0%)
- イ 内陸地区移動者 154件  
(回収率 51.3%)

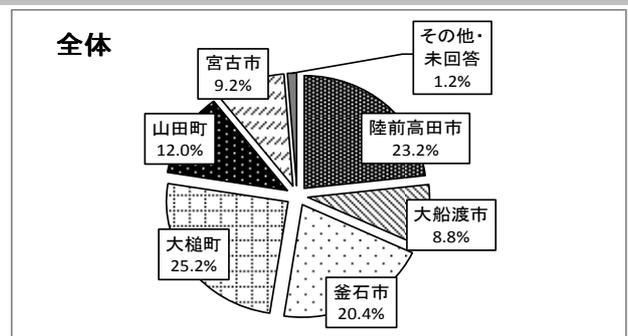
(県外)		
地域別	回答数	割合
北海道・東北	22	22.9%
関東	49	51.0%
中部	12	12.5%
近畿	6	6.3%
その他・未回答	7	7.3%

(内陸地区)		
市町村別	回答数	割合
盛岡市	56	36.4%
花巻市	18	11.7%
北上市	20	13.0%
遠野市	8	5.2%
奥州市	9	5.8%
一関市	18	11.7%
その他・未回答	25	16.2%

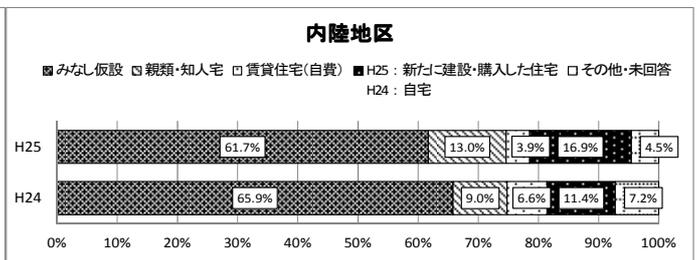
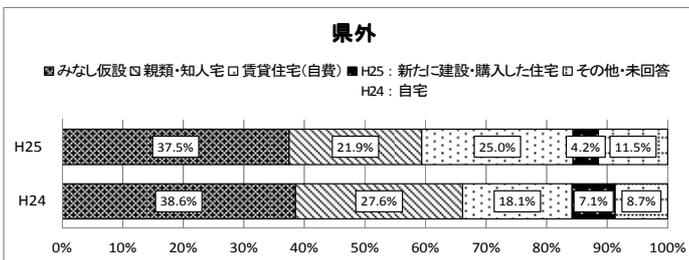
### (6) 回答者の世帯の属性

#### ア 震災前の居住市町村

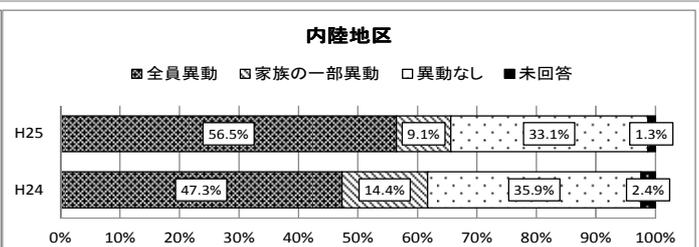
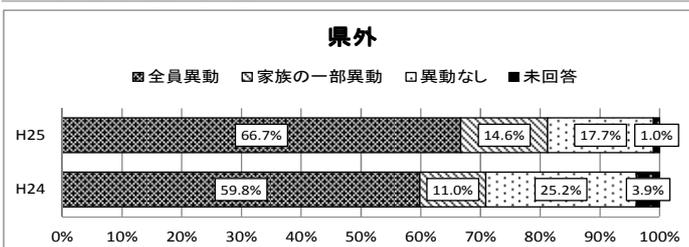
市町村名	県外		内陸地区		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
陸前高田市	19	19.8%	39	25.3%	58	23.2%
大船渡市	10	10.4%	12	7.8%	22	8.8%
釜石市	21	21.9%	30	19.5%	51	20.4%
大槌町	22	22.9%	41	26.6%	63	25.2%
山田町	9	9.4%	21	13.6%	30	12.0%
宮古市	14	14.6%	9	5.8%	23	9.2%
その他・未回答	1	1.0%	2	1.3%	3	1.2%



### イ 現在の住居



### ウ 住民票の異動



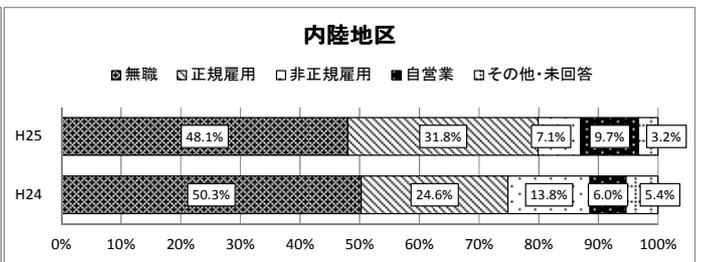
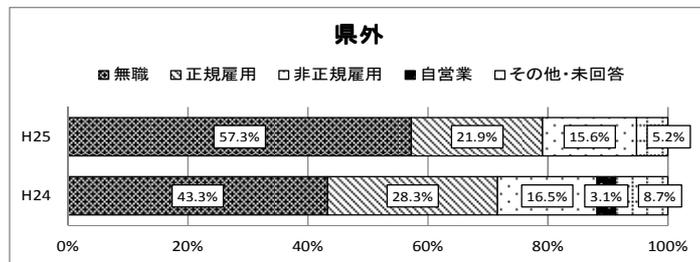
エ 世帯の人数						
	県外		内陸地区		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1人	33	34.4%	41	26.6%	74	29.6%
2人	37	38.5%	55	35.7%	92	36.8%
3人	13	13.5%	22	14.3%	35	14.0%
4人以上	11	11.5%	33	21.4%	44	17.6%
未回答	2	2.1%	3	1.9%	5	2.0%

※留意事項※  
 ○沿岸12市町村とは、洋野町、久慈市、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市であり、内陸地区とは、沿岸12市町村を除いた県内市町村です。  
 ○割合は、少数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

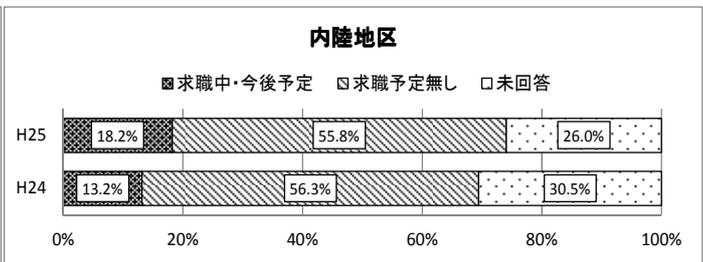
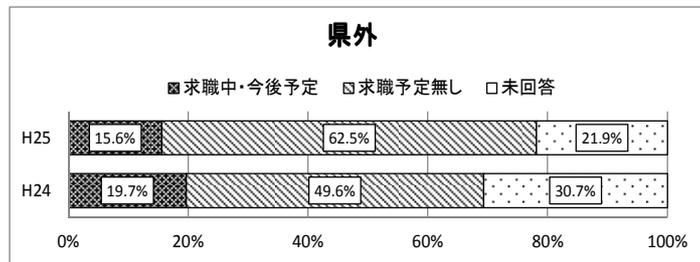
オ 主たる生計維持者 ① 年齢						
	県外		内陸地区		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
29歳以下	4	4.2%	5	3.2%	9	3.6%
30代	9	9.4%	14	9.1%	23	9.2%
40代	12	12.5%	23	14.9%	35	14.0%
50歳～64歳以下	27	28.1%	43	27.9%	70	28.0%
65歳以上	43	44.8%	69	44.8%	112	44.8%
未回答	1	1.0%	0	0.0%	1	0.4%

② 性別						
	県外		内陸地区		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
男性	56	58.3%	114	74.0%	170	68.0%
女性	38	39.6%	40	26.0%	78	31.0%
未回答	2	2.1%	0	0.0%	2	1.0%

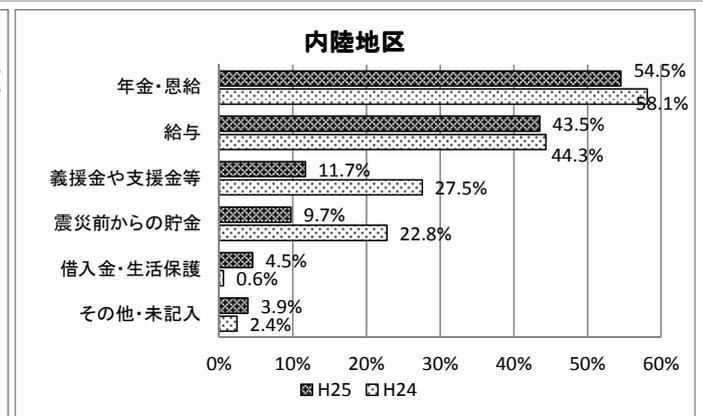
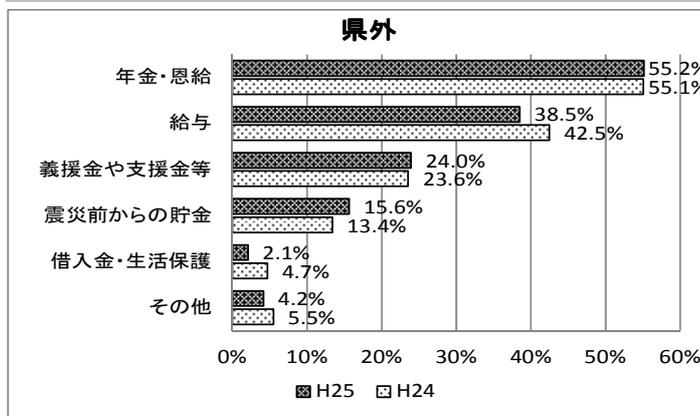
### ③ 就労状況



### ④ 求職状況



### カ 世帯の現在の生活資金(主なもの2つを回答※)

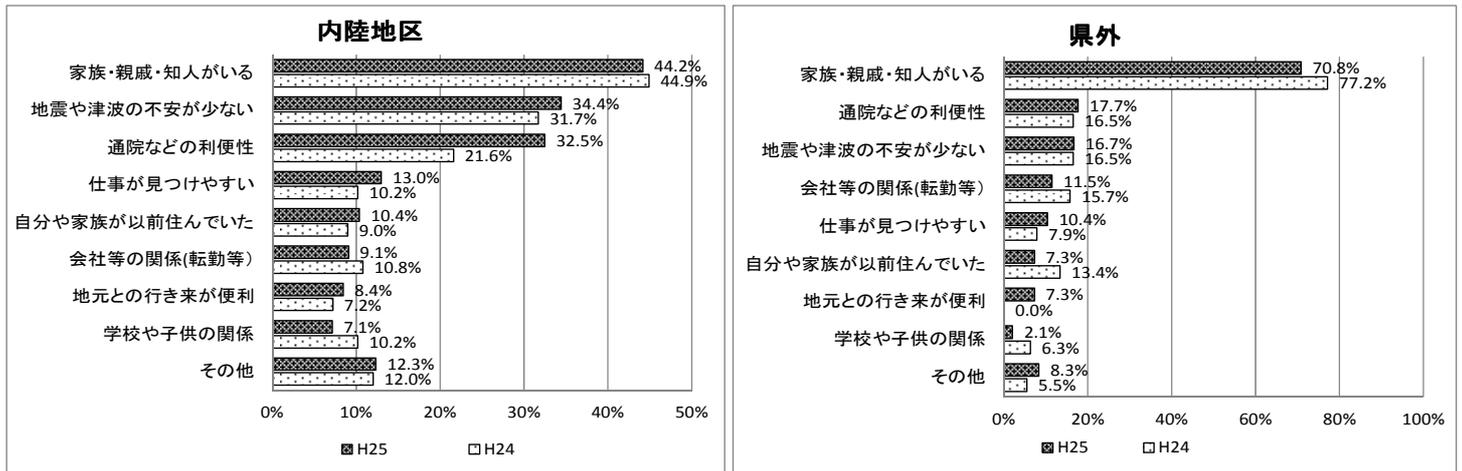


※カ「世帯の現在の生活資金」については、平成24年度アンケート調査では「複数回答」としていましたが、今年度調査では「主要2つまでの回答」としています。

### 3 調査結果の概要

#### (1) 県外・内陸市町村へ移動した理由について（複数回答）

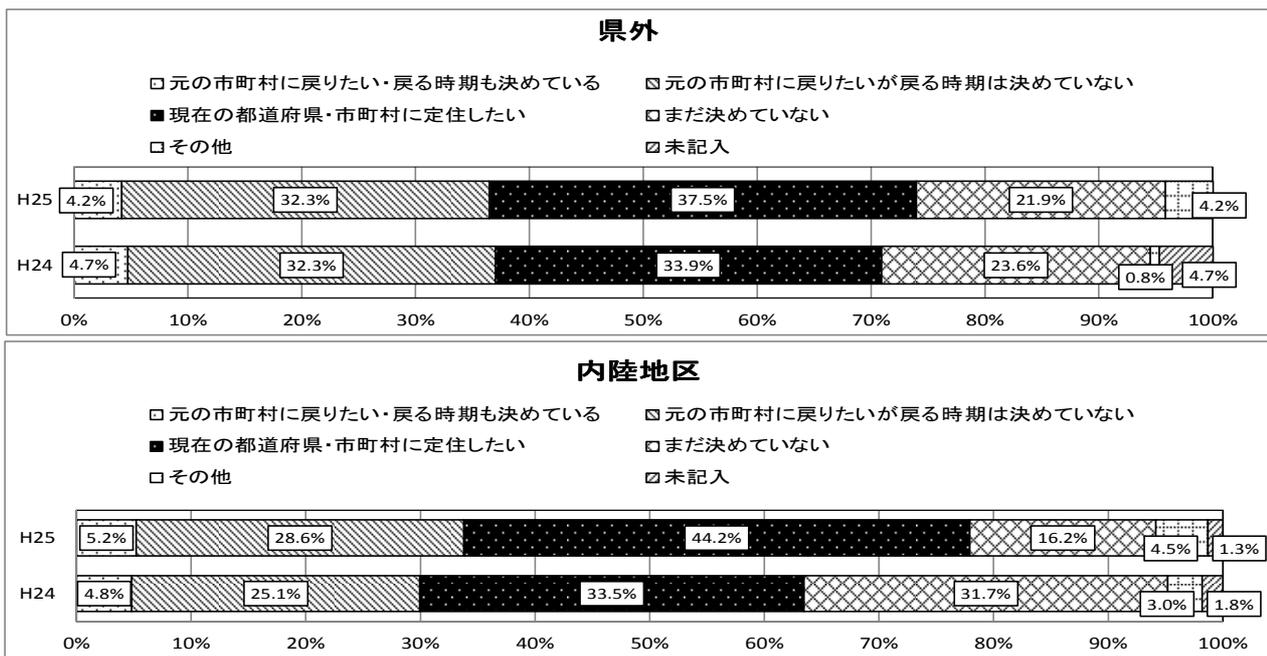
- 県外・内陸地区とも、「家族・親戚・知人がいる」の割合（県外70.8%、内陸44.2%）が最も高く、前回調査とほぼ同様の傾向となっている。
- 次に、県外では「通院などの利便性」(17.7%)、「地震や津波の不安が少ない」(16.7%)の順に高くなっている。
- 一方内陸地区では、「地震や津波の不安が少ない」(34.4%)、「通院などの利便性」(32.5%)の順に高くなっている。



#### (2) 今後の居住場所等について

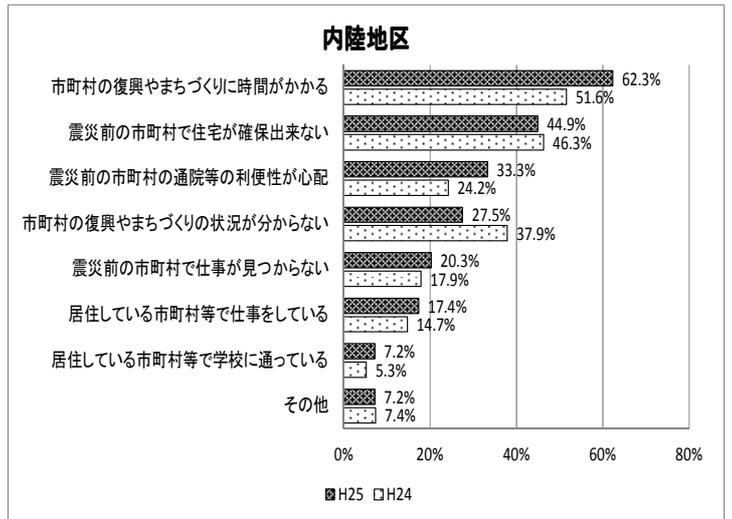
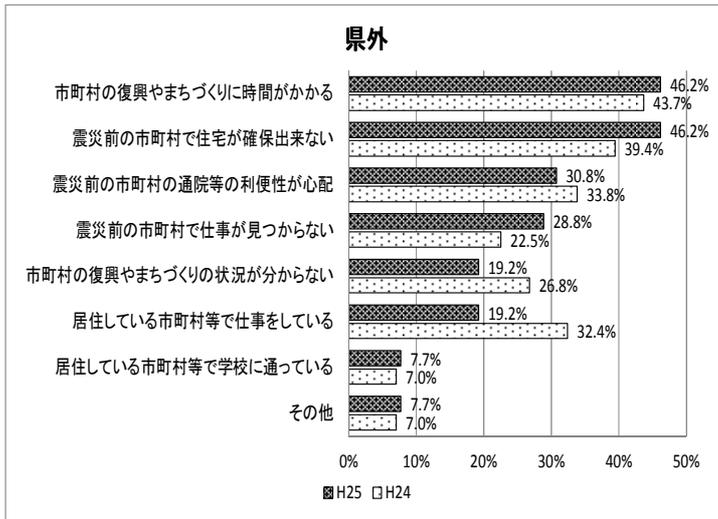
##### ア 今後の居住場所の意向

- 「元の市町村に戻りたい(時期も決めている・時期は決めていない)」の割合は、県外は36.5%(0.5%減)、内陸地区は33.8%(3.9%増)となっている。
- 「現在の都道府県・市町村に定住したい」の割合は、県外は37.5%(3.6%増)、内陸地区は44.2%(10.7%増)となっている。
- 「まだ決めていない」の割合は、県外が21.9%(1.7%減)、内陸地区が16.2%(15.5%減)となっており、特に内陸地区で大きく減少している。



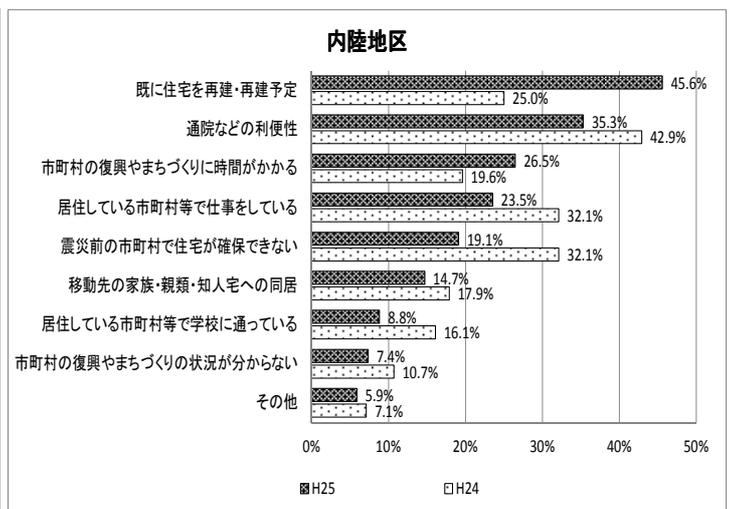
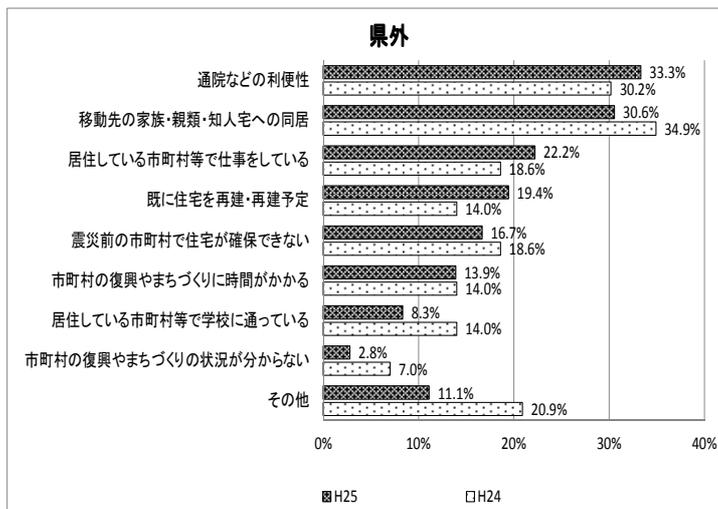
## イ 「元の市町村に戻りたいが時期は決めていない」又は「まだ決めていない」理由（複数回答）

- 県外・内陸地区ともに、「市町村の復興やまちづくりに時間がかかる」（県外：46.2%、内陸地区：62.3%）、「震災前の市町村で住宅が確保出来ない」（県外：46.2%、内陸地区：44.9%）、「震災前の市町村の通院等の利便性が心配」（県外：30.8%、内陸地区：33.3%）の順に割合が高くなっている。
- 県外・内陸地区ともに、「市町村の復興やまちづくりの状況が分からない」（県外：19.2%、内陸：27.5%）は前回調査と比較してそれぞれ（県外：7.6%、内陸：10.4%）減少している。



## ウ 「現在の都道府県・市町村に定住したい」理由（複数回答）

- 県外は、「通院などの利便性」の割合は前回調査より3.1%増加し、33.3%と最も高くなっている。また、「既に住宅を再建・再建予定」の割合は前回調査と比較し5.4%増加し、19.4%となっている。
- 内陸地区は、「既に住宅を再建・再建予定」が前回調査より20.6%増加し、45.6%と最も高くなっている。また、「市町村の復興やまちづくりに時間がかかる」割合は、6.9%増加し、26.5%となっている。

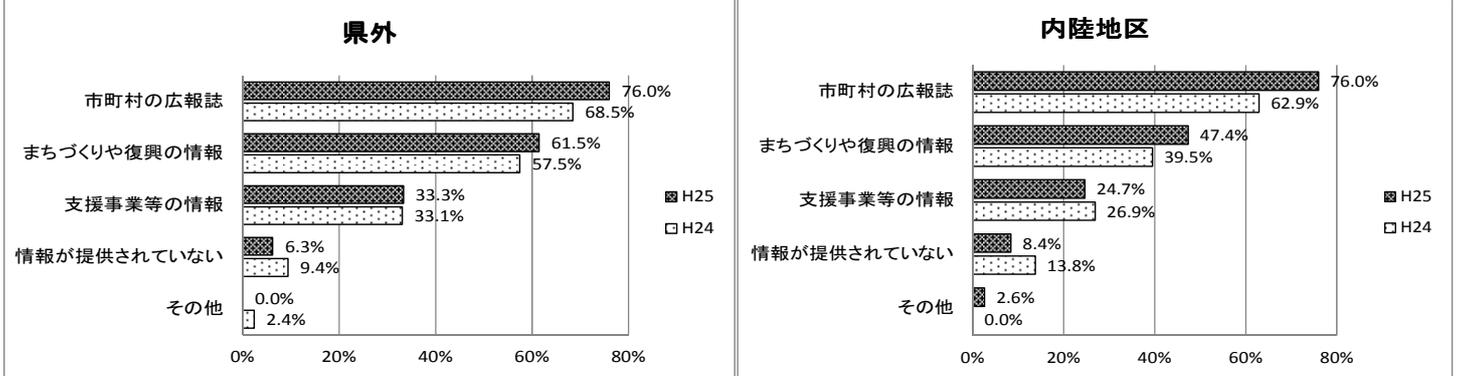


※平成24年度アンケート調査の「既に住宅を再建」という選択肢は、今年度調査では「既に住宅を再建・再建予定」という選択肢に変更しています。

### (3) 情報提供ニーズについて

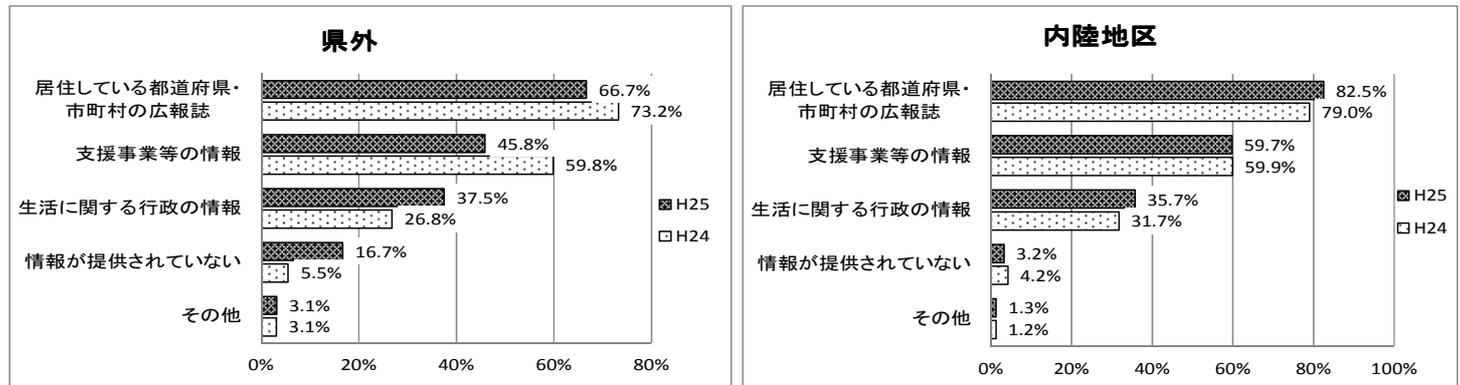
#### ア 震災前に住んでいた市町村からの情報提供の状況（複数回答）

- 「市町村の広報誌」の割合は、県外76.0%（7.5%増）、内陸地区76.0%（13.1%増）となっており、ともに増加している。
- 「まちづくりや復興の情報」の割合は、県外61.5%（4.0%増）、内陸地区47.4%（7.9%増）ともに増加している。
- 「情報が提供されていない」の割合は、前回調査と比較して県外（3.1%減）・内陸地区（5.4%減）ともに改善されている。



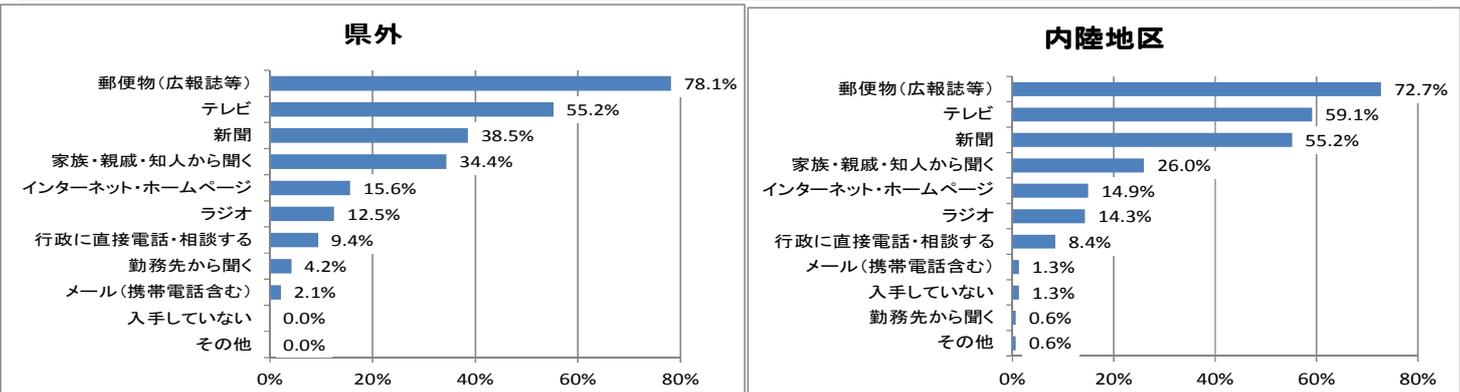
#### イ 居住している都道府県・市町村からの情報提供の状況（複数回答）

- 県外は、「居住している都道府県・市町村の広報誌」（66.7%）、「支援事業等の情報」（45.8%）の割合がそれぞれ6.5%、14.0%減少し、「生活に関する行政の情報」（37.5%）、「情報が提供されていない」（16.7%）の割合がそれぞれ10.7%、11.2%増加している。
- 内陸地区は、「居住している都道府県・市町村の広報誌」（82.5%）、「生活に関する行政の情報」（35.7%）がそれぞれ3.5%、4.0%増加し、「情報が提供されていない」の割合が、1.0%減少している。



#### ウ 復興や支援に関する情報の入手方法（複数回答）

- 県外・内陸地区ともに、「郵便物（広報誌等）」の割合（県外：78.1%、内陸：72.7%）が最も高くなっており、次いで「テレビ」、「新聞」、「家族・親戚・知人から聞く」の順に高くなっている。



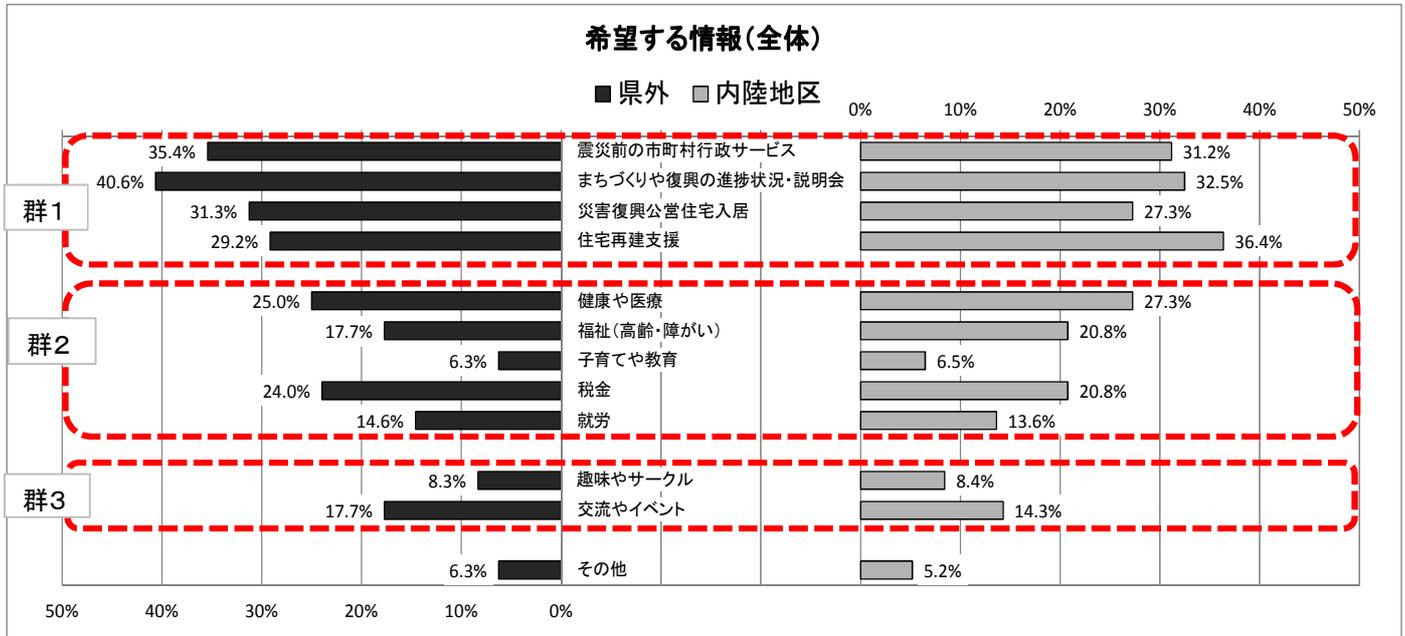
(4) 希望する情報 (複数回答)

ア 全体

【全体】

- 県外・内陸地区とも、群1を希望する割合が高く、全ての項目について25%以上の割合で選択されている。
- 群2では、県外・内陸地区ともに「健康や医療」の割合が高く(県外:25.0%、内陸地区:27.3%)、関心が高くなっている。次に税金の割合(県外:24.0%、内陸地区:20.8%)が高くなっている。

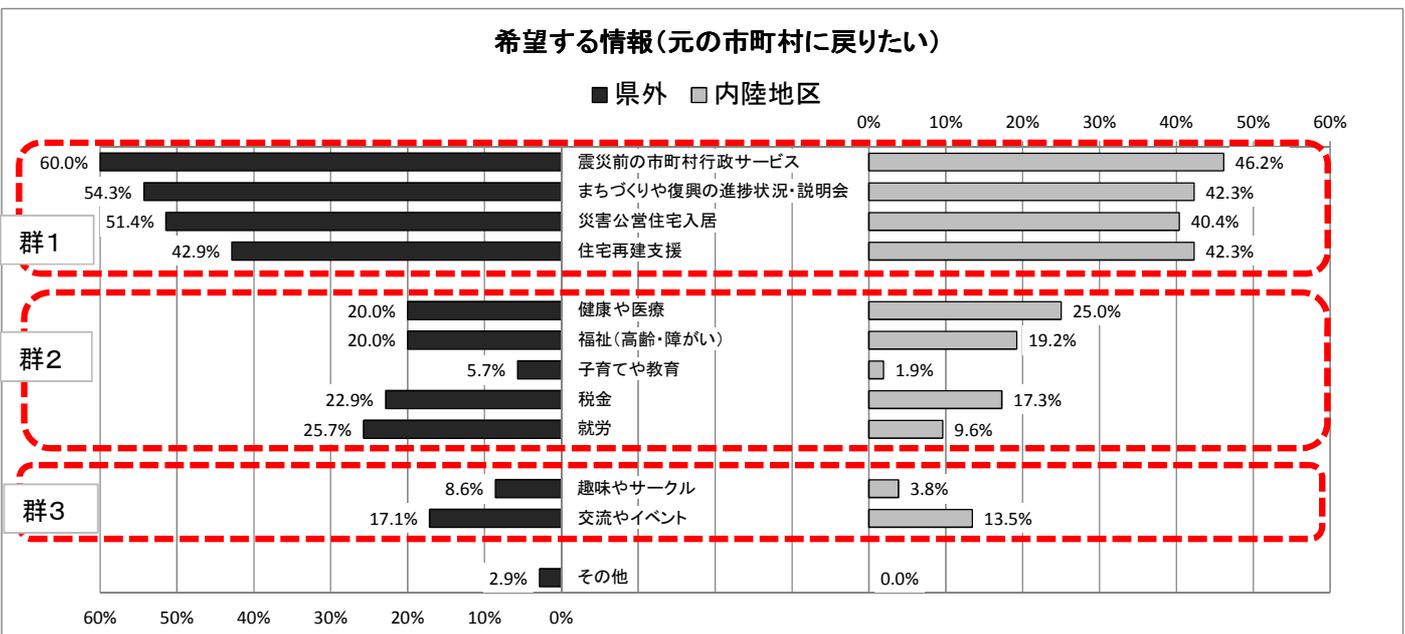
※群1＝復興や住宅再建に関すること、群2＝生活支援に関すること、群3＝イベントや趣味の活動などに関すること



イ 今後の意向別(希望する情報)

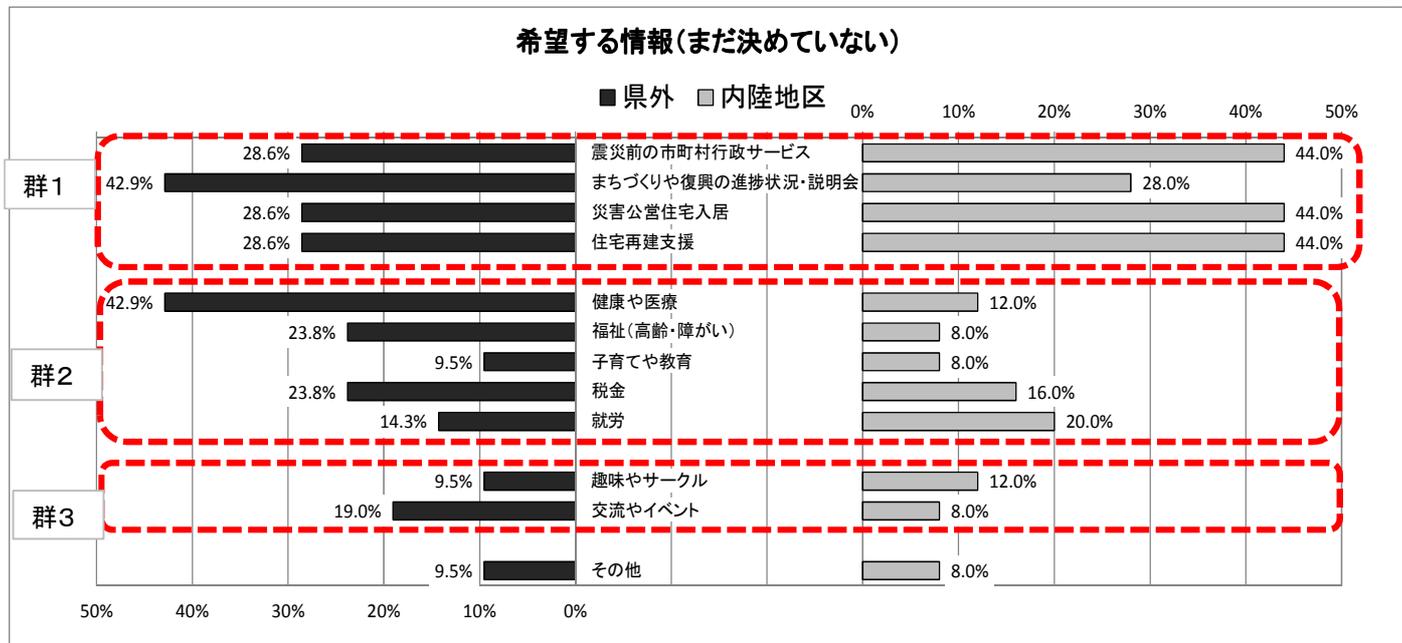
①【元の市町村に戻りたい】

- 県外・内陸ともに群1が高くなっており、群1全ての項目において40%以上の回答者が希望している。特に、「震災前の市町村行政サービス」の割合が県外60.0%、内陸地区46.2%と高くなっている。
- 群2では、県外は「就労」の割合が高く(25.7%)、内陸地区では「健康や医療」の割合(25.0%)が高くなっている。



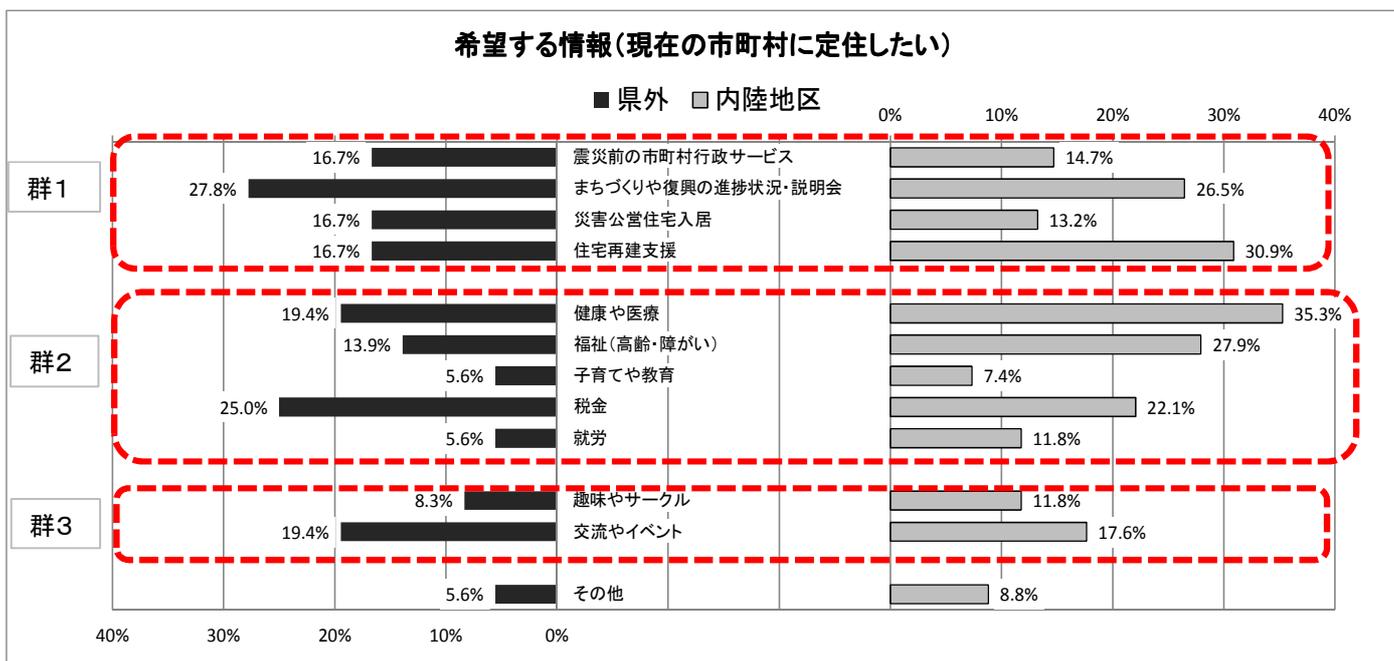
②【まだ決めていない】

- 県外・内陸地区ともに、群1の割合が高くなっている。県外では「まちづくりや復興の進捗状況・説明会」の割合が最も高く(42.9%)、内陸地区では、群1内それ以外の項目の割合(44.4%)が高くなっている。
- 群2では、県外は「健康や医療」の割合(42.9%)が高くなっている。



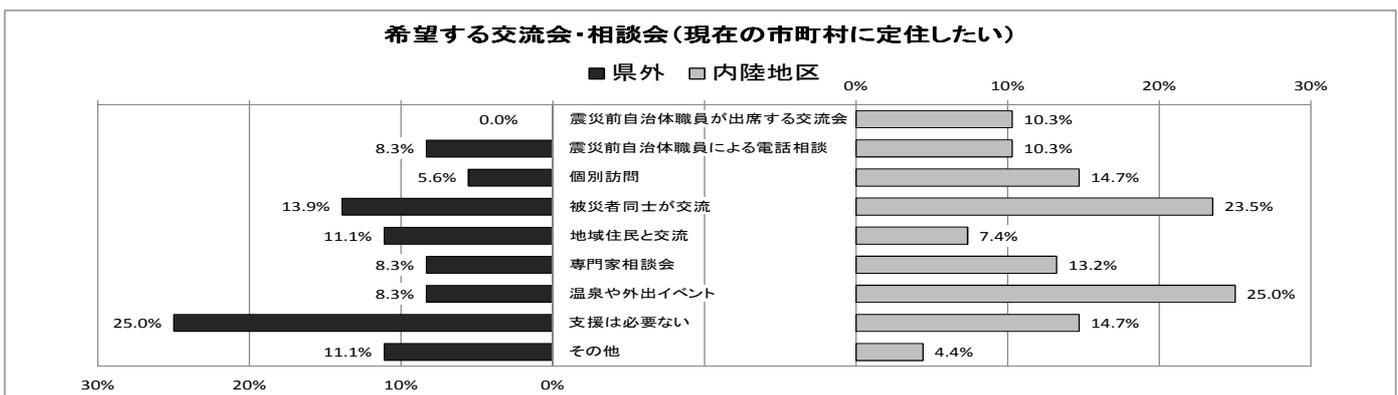
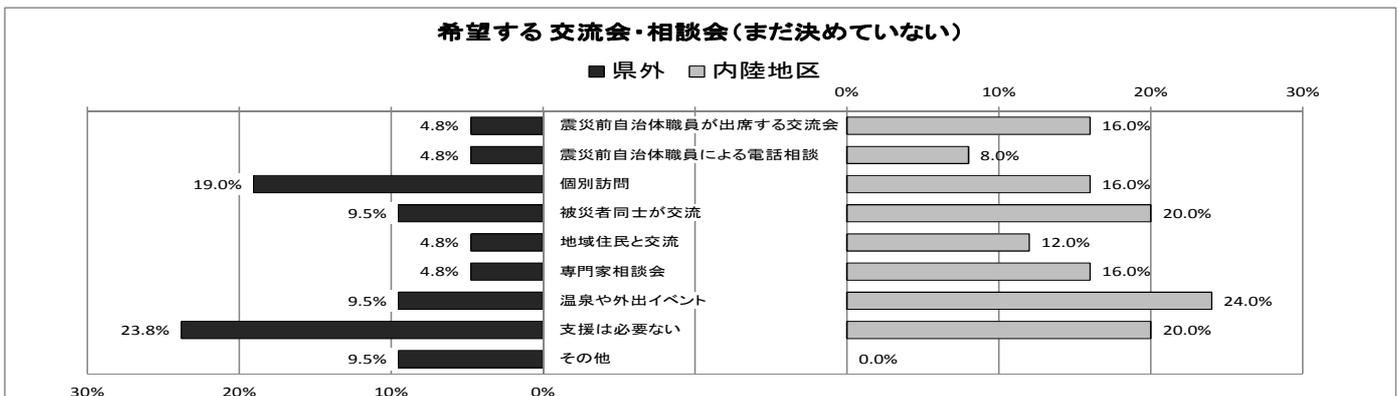
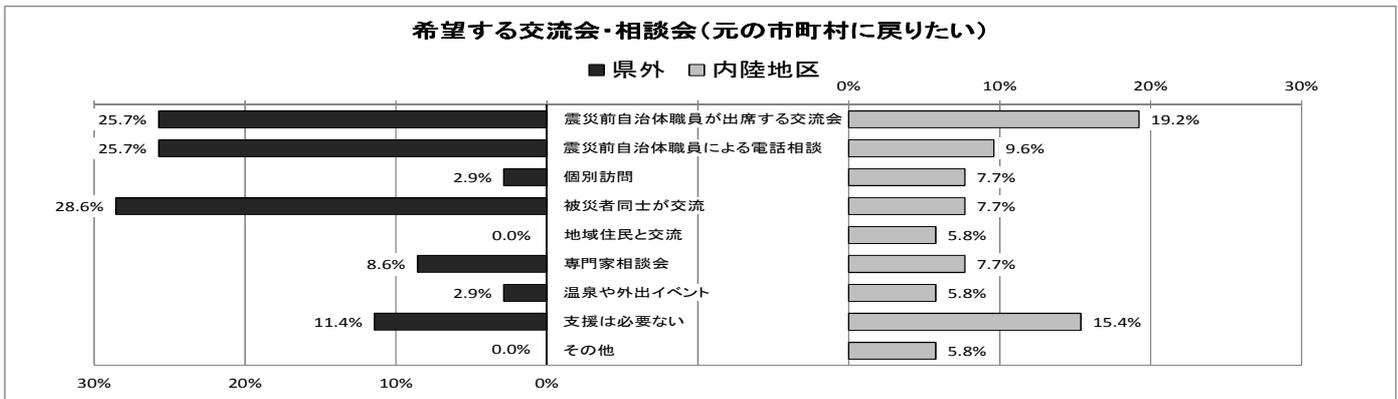
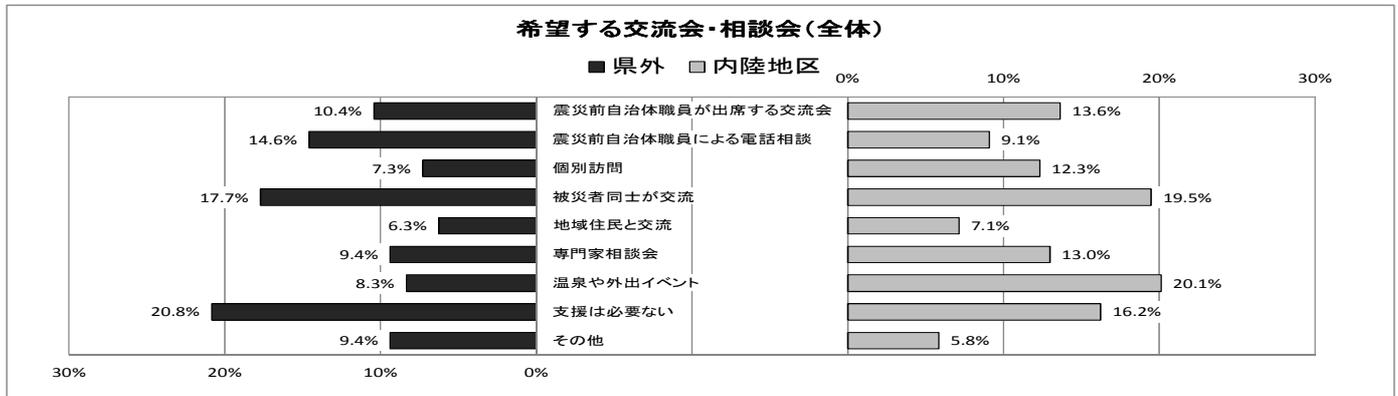
③【現在の市町村に定住したい】

- 内陸地区で、群2の割合が全体的に高くなっている。
- 群2では、県外・内陸ともに、「健康や医療」(県外:19.4%、内陸地区:35.3%)「税金」(県外:25.0%、内陸地区22.1%)の割合が高くなっている。
- 一方で、群1の項目では、県外は「まちづくりや復興の進捗状況・説明会」の割合(27.8%)が高く、内陸地区は「住宅再建支援」の割合(30.9%)や「まちづくりや復興の進捗状況・説明会」の割合(26.5%)が高くなっている。



## イ 希望する交流会・相談会

- 「全体」、「まだ決めていない」、「現在の市町村に定住したい」の回答分布はほぼ同様の傾向となっており、県外では「支援は必要ない」の割合が最も高く、「被災者同士が交流」の割合も高くなっている。内陸地区では、「温泉や外出イベント」、「被災者同士が交流」の割合が高くなっている。
- 「まだ決めていない」では、県外の「個別訪問」の割合(19.0%)が2番目に高くなっている。
- 「元の市町村に戻りたい」の回答分布は、他と傾向が大きく異なり、県外では「被災者同士が交流」(28.6%)、「震災前自治体職員が出席する交流会」・「震災前自治体職員による電話相談」(ともに25.7%)の割合が高くなっている。内陸地区では、「震災前自治体職員が出席する交流会」(19.2%)が最も高くなっている。



**(5) 自由意見（現在困っていること・心配ごと）（主なもの）**

**ア 県外**

区分	要旨
①みなし仮設住宅、現在の住まいについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤めている会社は岩手県で復興しているが、自分はいつ移動か目処がたっていない。自宅再建（支援）に期限が有るが、それまでに帰れるか、又期限延長を考えてくれるのか。先が不安。</li> <li>借上げ住宅に住んでいるが、収入は少なく、家を借りたり買ったりするお金はない。期限が切れた後どうなるのか心配。</li> </ul>
②復興や支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合住宅を一日も早く建て県民を安心させてほしい。</li> <li>住宅再建支援について被災地と不公平感がある。同じ被災者間に不公平感がある（被災地中心）。</li> </ul>
③帰還への不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢で通院が多くなり、帰郷しても何年滞在できるか不安でなかなか決心がつかない。</li> <li>被災前のところが忘れられない。帰りたいが、住居、病院など帰ることに不安が一杯。今はまだ気持ちは落ち着かない。</li> </ul>
④仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県内の就労に関する情報が郵送されるのありがたい。又、現在住んでいる所で岩手県の就職に関する説明会があれば出席したい。</li> <li>震災前に住んでいた所に職が少ないこと。</li> </ul>
④医療費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難先では医療費の免除がなく、自己負担で大変な思いをしている。避難先でも何らかの対応があればありがたい。</li> <li>現在の調子が悪く、通院中で仕事が出来ず収入がまったくない。一部負担金免除が切れてしまった以降の費用が心配。</li> </ul>
⑥気持ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者の気持ちを理解してもらうことが難しく、時々淋しい気持ちがこみあげてくる。気候や県民性の違いにとまどうこともあり、住み慣れた土地にとどまって生活していた方が良かったのではないかと悩むことも度々あり、苦しい気持ちになる。</li> <li>テレビ等に震災前に住んでいた場所の様子が写ると、懐かしさと共に淋しさで胸が一杯になる。出来ることなら帰りたいと思うが、帰る家もないことを考えると自分の感情だけが取り残されてしまい辛い。住める住宅が確保できたら帰りたいとの希望が今の支えになっている。</li> </ul>
⑦その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>この先も安定した暮らしを望みたいと思う。慣れたこの住宅に居続けることが出来るような対策を希望。</li> </ul>

**イ 内陸地区**

区分	要旨
①みなし仮設住宅、現在の住まいについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の仮設住宅からの退去が相当先になることが予想されている時、県の民間賃貸住宅の扱いがどうなるのか。継続が可となる場合の負担はどうなるのか。</li> <li>今民間借上げ住宅に住んでいるがいつまでこの状態で住めるのか。自己負担で住む様になった場合金銭面が心配。</li> </ul>
②復興や支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の加算支援金申請期限と県の申請期限の延長（再建するために復興が遅れている）。防波堤、防潮堤の早期完成スピードアップしてほしい。（自立再建するためにも。）</li> <li>被災土地がどのように取り扱われるのか…。一部だけ復興住宅の建設は進められても元の宅地がどのようになるかわからないのは不安。買い上げてもらえば安心して次へ進める。</li> </ul>
③帰還への不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災前に住んでいた町に戻りたいが、公営住宅が建つまでの長い時間がたつにつれて、不安やいらだちがつのる。</li> <li>復興の状況等が見えず、家族も高齢で震災後体調が悪いため、毎週病院通い。通院などの利便性を考えると心配で家族共に迷っている現状。</li> </ul>
④仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸に戻って暮らしたいが、希望する仕事が無く、住居も見つけるのが困難なので現在内陸市で暮らしている。沿岸で働き、暮らせる収入が希望だが思うようにならない。</li> <li>家族の仕事が不安定。安定（正社員）の求人が少ないにもかかわらず数値上の求人率だけで改善されている様に見える。</li> </ul>
⑤医療費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・福祉・税金に関する援助（免除等）を継続してほしい。お金が全くない。お金さえあればというのが本音。</li> <li>病院通いの2人なので、今後医療費等免除が無くなった時を思い、心配している。</li> </ul>
⑥気持ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>内陸に定住を決めたが本当にそこでやっていけるのか（生活上の習慣の違い、地元の友達がいないことなど）不安が一杯。</li> <li>復興の兆しが見えないのでこれからどのように暮らしていったらよいか不安。戻りたくても戻れない。このままだと益々被災地域に住んでいた人達が戻らないままになってしまうと思う。</li> </ul>
⑦その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村の現状を、被災者1人1人に具体的にわかりやすく伝えるような説明会を希望。</li> <li>それぞれの理由で被災地を離れて暮らしている被災者も一からのやり直しとなるので、これからも被災地と同等の生活のための支援を、継続的にお願いしたい。沿岸被災地だけに住宅再建等の手厚い補助があり、疑問。</li> </ul>

平成25年  
「県外及び内陸地区へ移動している  
被災者へのアンケート調査」  
結果報告書  
(平成25年9月)

発行

平成25年9月26日

岩手県

復興局 生活再建課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話(019)-629-6926

ホームページ：いわて復興ネット

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=39696&ik=0&pnp=14>